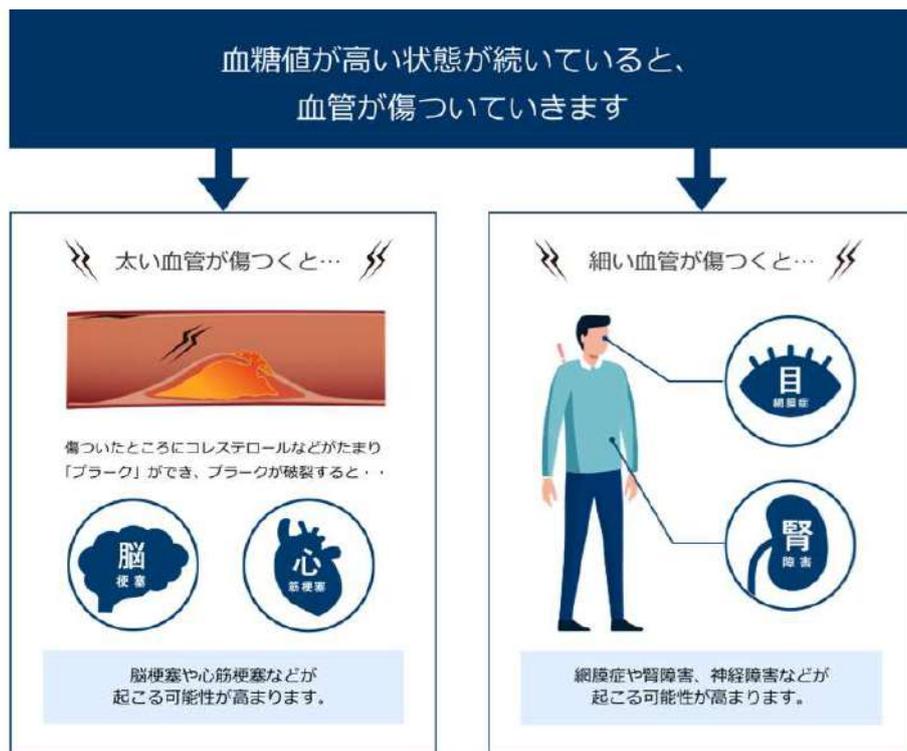


# STOP 糖尿病

糖尿病ケア通信第 8 号 2024.12.9 発行

## 糖尿病と血管の関係

糖尿病は知らず知らずのうちに血管を傷つけています。糖尿病の血管合併症は、細小血管障害である神経障害、網膜症および腎症が有名ですが、比較的頻度の高い血管障害として冠動脈疾患や脳血管障害、末梢動脈疾患にも注意が必要です。



1.8倍 (男性)  
2.5倍 (女性)

57%?

42%?

糖尿病によって、狭心症・心筋梗塞が起こるリスクは約 2~3.5 倍に高まり、脳梗塞が起こるリスクも約 2 倍に高まるといわれています。糖尿病のある人の脳・心臓などの循環器疾患による死亡率は、糖尿病でない人の 1.8 倍(男性)、2.5 倍(女性)になっています。

糖尿病網膜症は糖尿病にかかって 10 年ほどでリスクが高まるといわれており、15~19 年の人で約 57%に合併しています。また、成人の失明の原因疾患として、緑内障に続く第 2 位の疾患です。

糖尿病による腎障害は、糖尿病のある人の 42%に合併しています。また、透析を始める原因の 43.2%を糖尿病腎症が占め、1998 年から継続して第 1 位になっています。

文責：森、工藤